

第2次宝達志水町総合計画

概要版

● 計画策定の趣旨

「第2次宝達志水町総合計画」は、本町の最上位計画であり、今後10年間の施策の方向性をまとめたものです。

本町の人口は、全国的な少子高齢化に伴う人口減少の進行を受け、著しく減少すると予測されており、長期的な町の存続に向け危機的な状況にあります。また、近年は自然災害が多発し、社会情勢も目まぐるしく変化しています。そのため、町民と行政が一丸となって目指す「まちづくりのテーマ」を定め、働く世代や子どもたちを惹きつけつつ、多くの町民が持続的に暮らし続けられるよう、各分野における計画や施策の基本的な指針を取りまとめました。

● 計画期間

計画期間は10ヶ年です。

計画開始

令和2(2020)年度

中間見直し

令和6(2024)年度

計画完了

令和11(2029)年度

● まちづくりのテーマ

人口減少や少子化といった本町の危機的状況を脱するため、町民と行政が一丸となり、

若者や子育て世代が魅力を実感できるまちを目指します。

町民こそが町の「宝」と考え、将来を担う多様な人材を町の総力を挙げて育成することを通じて、
全ての人が活躍できるまちづくりを進めます。

【まちづくりのテーマ】

育てよ！ 町の宝

～未来を担う若者が育ち、みんなが誇れるまちづくり～

まちづくりのテーマの実現に向け、3つのサブテーマを設け、施策を展開します。

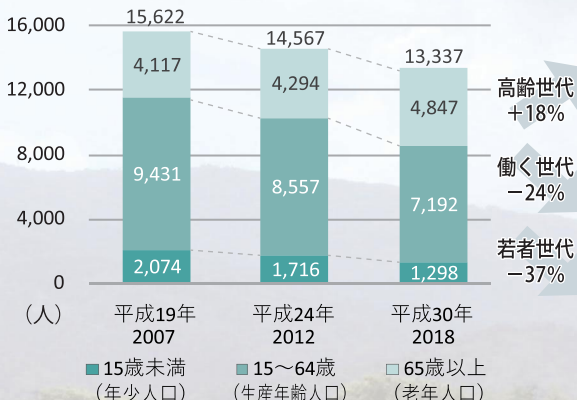
①町の宝を育てる

②町の良さを伸ばす

③町の礎を次代につなげる

【参考】宝達志水町の人口

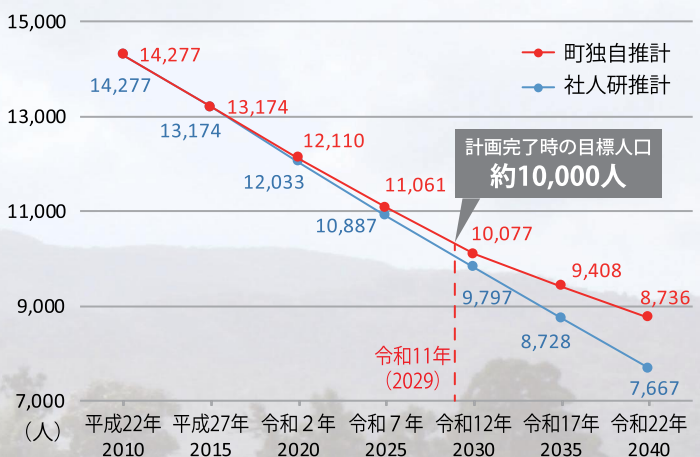
過去10年間の人口(年齢別)



■ 社人研推計
国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計。

これからの人口(総数)

※令和2年以降が推計値



■ 町独自推計「宝達志水町人口ビジョン(第2期)」
「宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関連計画で将来人口を推計。

① 町の宝を育てる

～郷土愛と夢に向かって飛躍する力を育み、Uターンを促す～

町の将来を担う子どもや若者が育つには、「この町で育った」という確かなアイデンティティの認識が重要です。町の素晴らしさ、人の輪の大切さを感じながら成長していける町を目指します。

また、そのために現役、高齢者世代を含め全ての町民が健康で生きがいを持ち「人生を楽しみながら」過ごし、学び、働き続けられる環境整備に努めます。

【施策の体系】

誇り高き若者を育てる

学校教育の充実

子育てサポートの充実

青少年の健全育成

未来のために学び、楽しむ

地域全体での特色ある教育

歴史・文化遺産の継承

生涯学習の充実

生涯スポーツの推進

町内外の交流の促進

全員参加のまちづくり

自助・共助・公助の連携

人権尊重と男女共同参画の推進

国際交流・多文化理解の推進



働く世代や子どもたちに向けて



学校教育の充実

- ・この町で育ったからこそ得られる自信と目標に向けて必要な教養を身に付けられるよう、指導体制や施設・設備の充実を図ります。

子育てサポートの充実

- ・全ての家庭が安心して子育てができる環境を作り、未来の子育て世代にも町の魅力として認識してもらえるよう、柔軟な支援事業や地域で支える仕組みづくりなどを進めます。

地域全体での特色ある教育

- ・郷土に対する理解と愛着を深め、また、町における問題や課題を認識でき、自ら解決に向け主体的に行動が起こせるよう、郷土について学び、地域との繋がりを進めます。

町内外の交流の促進

- ・町外に転出した町民がふるさととの関係を保ち、Uターンなどに繋がるよう交流の場づくりを進めます。
- ・各種イベントなどにより、町の魅力を広く実感してもらい、町とより関わりたい人を増やしていきます。

② 町の良さを伸ばす

～移住・定住に向けたきっかけ・受け皿を強化する～

多くの人が豊かな自然、ゆとりある生活環境、町民の支え合いに町の良さを感じています。また、祭りや民俗、産物や食べ物など、町の個性がしっかりと息づいています。

一方で、買い物や交通の不便さ、老後の生活・健康・福祉への不安、娯楽や余暇を過ごす場が少ないといった不満の声があります。

良さを伸ばしつつ不安や不満の解消に努め、町民が満足できるまちづくりに積極的に取り組みます。

【施策の体系】

住み続けられるまちづくり

定住の促進

良質な生活基盤の充実

環境への取組

交通ネットワークの利便性向上

戦略的な土地利用の推進

情報・通信基盤の整備

誰一人取り残さない社会福祉

健康づくりの推進

医療体制の充実

高齢者福祉の充実

障がい者(児)福祉の充実



働く世代や子どもたちに向けて



宝達志水町に移住した方々



(上記2枚の写真出典)
宝達志水町定住促進協議会 HP

定住の促進

- ・若者が町に定着するために、居住、就職や結婚に関する支援施策を整え、サポート体制が充実した住みよい町であることを積極的にPRします。
- ・定住促進に向けては、本計画全体で町の魅力を高め、町内外の人が憧れる環境を目指して総合的に取り組みます。

良質な生活基盤の充実

- ・若者が移住・定住しやすいよう、宅地供給や民間賃貸住宅の建設を促進します。
- ・空き家や集落内の遊休地などの利活用を進め、様々な住環境の確保を進めます。

● SDGsの実現による持続可能なまちづくり

近年、SDGsの理念（「誰一人取り残さない」社会の実現）の浸透・普及が期待されています。町民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができるよう、SDGsのアプローチで行政や多くの町民が領域を超えて連携し、活動していく必要があります。

本計画では、各施策とSDGsの17のゴールとの関係を整理し、計画の推進によりSDGsの理念の実現を目指していきます。



SDGsにおける17の目標

■SDGs [Sustainable Development Goals]
持続可能な開発目標（SDGs）とは、国連が示す2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するため、貧困や飢餓の撲滅、気候変動対策、資源保全など17のゴール・169のターゲットから構成されており、地方創生の視点でも活用されています。

③ 町の礎を次代につなげる

～町の活気を保ち、安全・安心を確保する～

生活や社会制度、国際化、技術革新など、時代の目まぐるしい変化に即応し、定住条件の強化や産業振興、地域の魅力向上につながる各種計画策定や制度構築に取り組みます。

また、自然災害や大規模な事故、健康被害をもたらす事態のほか犯罪、人権侵害など、様々な危機に対する的確な対応を図り、安全なまちづくりに努めます。

【施策の体系】

産業の可能性を芽吹かせ育てる

農林水産業の振興

商工業の振興

観光の振興

命を守りやすらぎあるまちづくり

消防・防災減災体制の充実

防犯・交通安全対策の充実

持続可能な行政経営の実現

持続可能な行政運営の推進

財政健全化の推進

公営企業の経営健全化



働く世代や子どもたちに向けて

農林水産業・商工業の振興

- 各産業の担い手が確保できるよう、関係団体の連携を高め、町の産業に関わるきっかけづくりや参画支援などを進めます。また、町の特色を生かした新産業や事業の創出も支援します。
- 多様化する働き方に対応できるよう、事業所などの確保の円滑化や移住者と町民の交流を促進し、創造的な働き方を支えます。



観光の振興

- 明確なコンセプトに基づいた地域づくりの実現に向け、観光まちづくりの舵取り役となる組織を形成し、観光資源の活用や町内外の連携を進めます。



(写真出典) のと里山空港利用促進協議会

消防・防災減災体制の充実

- 近年被害が拡大している台風やゲリラ豪雨などの災害に対し、町民の被害を最小限にできるよう、町内外の組織連携などによる消防体制の強化、各地域での防災力の向上に取り組みます。



発行：令和2年（2020）3月 石川県宝達志水町

編集：宝達志水町企画振興課

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ 18 番地 1

TEL：0767-29-8250 FAX：0767-29-4623

URL：http://www.hodatsushimizu.jp e-mail：kikaku@town.hodatsushimizu.lg.jp

計画の詳細については、町ホームページなどで公開している総合計画（本編）をご覧ください。